

虫の目の分析・改善(動作改善)から鳥の目の分析・改善(VSM)まで

日本生産性本部(日本IE協会)主催

工場改善 “ムダ取りと流れづくりの実践”

通い2日

セミナー概要

自社の問題・課題を的確に捉え、レベルアップにつながる改善になっていますか？改善方法とその適用範囲は現場ごとに異なります。この講座では、日々大きく変化する市場環境に適応しながら、更に改善のレベルアップを狙いに、工場、モノづくり現場の改善をどう進めるかを具体的な実践方法、事例を交えながら習得する研修です。座学で基本的な考え方と方法(IE手法・ムダ取り)を習得し、更に模擬演習と実践事例の研究を通して、改善の具体的な実践のノウハウを習得します。改善の実践では、ムダ取りから工場全体の流れづくりを研究します。単に改善の手段の適用だけでは、活動が進まない事が多々あります。改善の心技体(意識・スキル・仕組み)について、特に改善の心(意識・意欲)をどのように現場に広げるかにポイントを置きながら研究します。

講師 / 日本IE協会専任講師 香川改善オフィス 代表 香川博昭氏

1958年大阪府生まれ。関西日本電気(株)生産革新推進室を経て、現在、香川改善オフィス代表を務める。企業の「改善」指導(コンサルタント)、現場改善関係のセミナー講師として活躍する傍ら、「実践IEの進め方」、「現場改善力」、「事例でわかる標準化」、「事例でわかる設備改善」などの著作がある。国内から海外まで種々のモノづくり工場で、生産革新活動(Q:品質向上、C:生産性向上、D:リードタイム改善)の指導を担当。机上の理論ではなく、現場での実践型指導を得意とする。



開催日程とスケジュール

通い1日

2025年9月11日(木)
|
2025年9月12日(金)

第1日～第2日

10:00

10:00 開始

- 工場改善の基本
 - 「現場の問題、課題」の捉え方
 - ムダと付加価値を見分ける
 - 7つのムダ(動作・運搬・手待ち・つくり過ぎ・在庫・不良・加工に潜むムダ)を掴む
<演習:IEの基本「ムダを見つける方法」>
 - ワークサンプリング法
 - 作業分析(ビデオ分析法)
- ムダ取り(ムダに着眼し、ムダを取る方法)
 - 作業のムダ(動作・運搬のムダ)を取る
 - 工程間のムダ(手待ち・つくり過ぎ・在庫のムダ)を取る
 - 不良・加工に潜むムダを取る
「なぜなぜ分析」による原因追究法を学ぶ
- ムダ取りの実践研究

演習:模擬ラインの分析～改善実習

 - 模擬ラインの現状把握
ビデオ分析、ラインの生産性の捉え方
 - 模擬ラインの改善案の検討
 - 模擬ラインの改善の実践
- 改善事例の研究

改善の実践ビデオから標準作業づくりを学ぶ

 - ムダ着眼の実践方法
 - 標準作業の考え方を学ぶ:標準作業(サイクル、リズムのある作業)をつくり、継続的に改善サイクルを回す
 - 標準作業の実践方法を事例で学ぶ
- 不良・不具合の改善(なぜなぜ分析実践)研究

演習:ボール発射機の分析～改善実習

 - 不良・設備不具合(稼働率向上)問題改善の進め方
 - 不良・トラブルの現状把握
不良のデータ分析の基本的な方法を学ぶ
 - なぜなぜ分析の実践
ボール発射機による不良・不具合の改善
- 工場全体のモノと情報の流れの分析と改善(VSM:バリューストリームマップの活用法)
 - 工場全体のモノと情報の流れを捉える(流れを付加価値とムダで捉える)
 - モノと情報の流れからムダを取る(標準作業で工場全体の流れをつなぐ)
 - VSMの事例研究(実際の事例でVSMの描き方を研究する)

17:00

17:00 終了

1名あたり参加費
(消費税10%込)

商工研会員
83,600円

一般(参考)
88,000円

テキスト代込み

講師:日本IE協会専任講師
香川改善オフィス 代表 香川 博昭 氏
会場:東京・永田町近辺の会議室